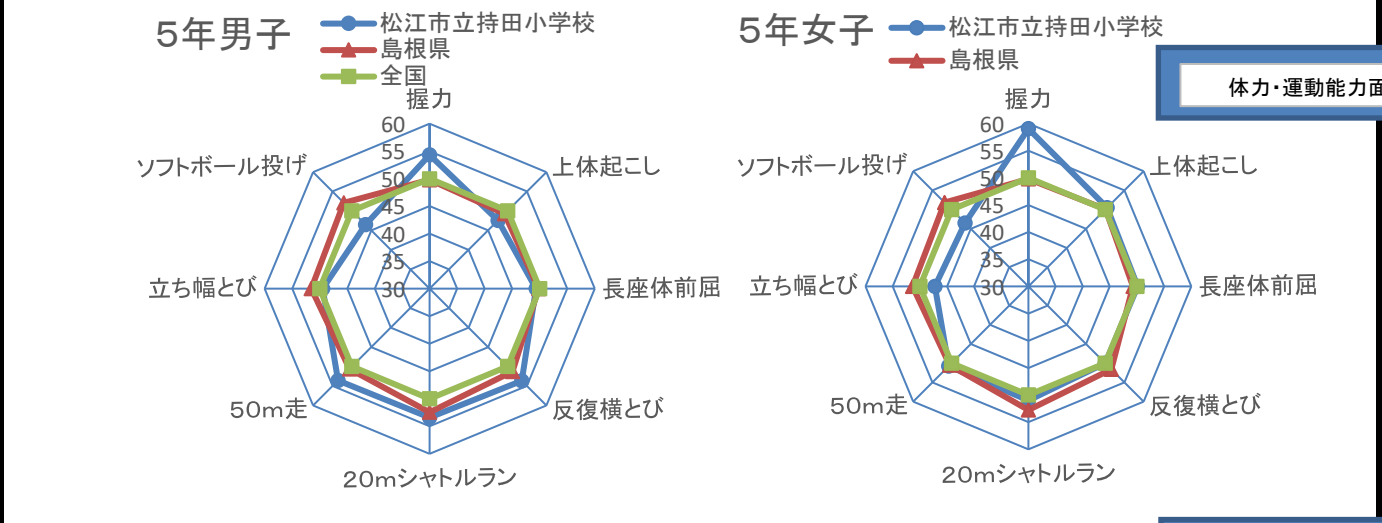
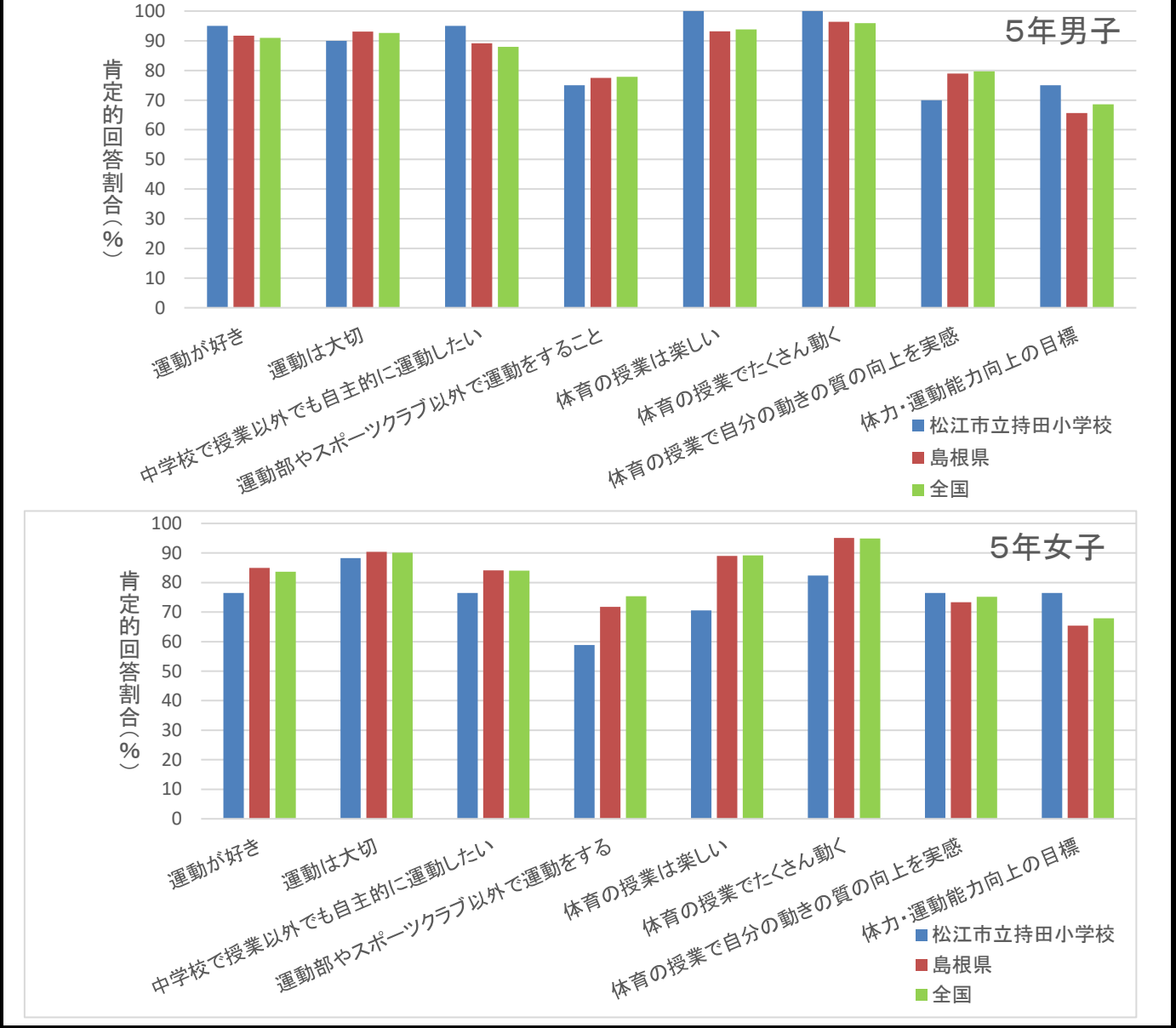


(1) 令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)

(2) 調査結果の分析



全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査＜意識調査＞の結果
(体力合計点との相関が指摘されているものや松江市教育委員会として注目しているものを挙げています)



強み
○男子では特に「握力」が全国平均を上回っている 特に「筋力」が強い。 ○女子では特に「握力」が全国平均を上回っている。特に「筋力」が強い
課題
●男子では特に「ソフトボール投げ」が全国平均を下回り、特に「巧緻性」「筋パワー」が課題。 ●女子では特に「ソフトボール投げ」「立ち幅跳び」において全国平均を下回り、特に「巧緻性」「筋パワー」が課題。
次年度の対策
○体育の授業において体力向上の運動例を冊子にしたもの等から巧緻性や筋パワーを高める運動を継続して取り組む。 ○特にボール運動や体づくり運動の授業では投げる動きを繰り返し経験できる活動を取り入れる。

強み
○男子では特に「中学校で授業以外でも自主的に運動したい」「体育の授業は楽しい」について肯定的な回答の割合が全国平均よりも高い。 ○女子では「体力・運動能力向上の目標」について肯定的な回答の割合が全国平均よりも高い。
課題
●男子では特に「体育の授業で自分の動きの質の向上を実感している」について肯定的な回答の割合が全国平均よりも低い。 ●女子では特に「体育の授業は楽しい」「運動部やスポーツクラブ以外で運動する」について肯定的な回答の割合が全国平均よりも低い。
次年度の対策
○授業において児童全員が自分の目標(スモールステップでも良い)をもって取り組めるようにしていく。また、その目標に対して自分の達成状況が分かるよう適宜振り返りの時間を設ける。 ○授業において体力向上の運動例を冊子にしたもの等を活用し、運動の楽しさを味わうことができる時間を設ける。

(3) 令和4年度の方針【学校全体での取組】

- ①体力向上や体育授業に関する校内研修会等の計画について
年度当初、全教職員にR3年度の体力・運動能力調査の結果及び課題と体力向上の運動例について冊子にしたものを配布し、指導者が各運動の特性を意識しつつ、児童が体力づくりに意欲をもったり、様々な運動に親しむことができたりするようにする。また学期末には各学年部で取組の振り返りをし、全体に示す。
- ②体育科授業の工夫・改善について
年度当初に体力向上の運動例について冊子にしたものを配布し、各学年の実態に応じて運動例を活用することに加え、引き続き、鬼ごっこ、ストレッチ、5種目歩走等を取り入れたりとすることで運動が苦手な児童も楽しさを感じながら体力の向上ができるよう図っていく。
- ③体育授業以外の活動の工夫について
各学級へのサッカーボール等の配布、リレー大会やドッジボール大会、なわとび集会等の取組を継続する。運動例の掲示については、運動例(冊子)の活用状況等を見ながら必要に応じて実施する。
- ④家庭・地域、近隣の学校・園等との連携、情報発信について
保健便り等を通じて健康な体づくりについて啓発することに重点を置き取り組んでいく。